

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成21年1月8日 (2009.1.8)

【公表番号】特表2002-503737(P2002-503737A)
 【公表日】平成14年2月5日 (2002.2.5)
 【出願番号】特願2000-531486(P2000-531486)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 240/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 157/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 240/00

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 157/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年11月10日 (2008.11.10)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 5 】

上記パラメーターを示す芳香族化合物で変性した脂肪族炭化水素樹脂は、(a) C 5 および C 6 オレフィン (シクロオレフィンを含める) および / または C 5 および C 6 ジオレフィン、(b) 芳香族モノマー、ならびに (c) (ジ) シクロジオレフィンを含む石油供給原料を含む重合供給原料が、フリーデル・クラフツ重合に供され；

C 5 および C 6 オレフィン (シクロオレフィンを含める) および / または C 5 および C 6 ジオレフィンならびに芳香族モノマーが、前記樹脂が 2 5 ~ 4 5 の M M A P を有するような量で使用され；

かつ前記 (ジ) シクロジオレフィンが、前記樹脂が 2 0 0 0 ダルトン以下の M w および 6 0 0 0 ダルトン以下の M z を有するような量で使用される方法により得られる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の芳香族化合物で変性した脂肪族炭化水素樹脂は、重合供給原料をフリーデル・クラフツ重合に供することにより得られる。前記重合供給原料は、普通混合石油供給原料と希釈剤とを含む。石油供給原料は、好ましくは (a) C 5 および C 6 オレフィン (シクロオレフィンを含める) および / または C 5 および C 6 ジオレフィンを好ましくは 4 5 重量 % + / - 2 5 重量 % の量で、(b) 芳香族モノマーを好ましくは 4 0 重量 % + / - 2 0 重量 % の量で、ならびに (c) (ジ) シクロジオレフィンを好ましくは 2 0 重量 % + / - 1 0 重量 % の量で含む。

り得られる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

本発明の特に好ましい実施態様において、(a)がイソプレンもしくはイソプレンに富むビペリレン流れであり、(b)がメチルインデンに富む流れであり、(c)が(ジ)シクロジオレフィン流れである。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

(b)供給原料の芳香族部分は、スチレン、-メチルスチレン、ビニルトルエン、パラ-メチルスチレン、ジビニルベンゼン、(t-)ブチルスチレン、インデン、メチルインデン、およびこれらの混合物である。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

芳香族モノマーにもっとも好ましく使用される供給原料流れは、主にモノマーとしてビニルトルエンおよびインデンからなる市販される樹脂油である。高沸点範囲の樹脂油も使用できる。それらは、主にインデンおよびメチルインデンを含む。純モノマー流れも使用でき、所望の組成物に混合できる。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

重合供給原料の芳香族部分の組成がポテンシャルR & B軟化点に影響を及ぼし、したがって、好ましくは使用されるビペリレンもしくはイソプレン流れによって調整されることも発見された。イソプレンもしくはイソプレンに富むビペリレン流れの使用がポテンシャル軟化点を低下させることも発見された。組成を調整して、芳香族部分は減少したR & B軟化点を埋め合わせた。特に、メチルインデンに豊富な芳香族部分が高ポテンシャル軟化点をもたらすことが発見された。したがって、本発明の方法の好ましい実施態様は、成分(a)としてイソプレンもしくはイソプレンに富むビペリレン流れ、成分(b)としてメチルインデンに富む流れ、および成分(c)として(ジ)シクロジオレフィンを含む供給原料を使用する。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

使用法 / 定義 :

実施例に記載されるような接着組成物を調製するのに使用された材料は、次のとおりである :

レギュラービペリレン50 : ペルニス (NL) の Shell から入手可能なビペリレン濃

縮物。組成は下記参照。

粗ピペリレン 50 : ターネウゼン (N L) の D O W から入手可能な粗ピペリレン濃縮物。

組成は下記参照。

C 9 H B R 高沸点樹脂油 : ゲリーン (N L) の D S M から入手可能な、主にインデンおよびメチルインデンからなる樹脂油。組成は下記参照。

レギュラー C 9 クラシック樹脂油 : ゲリーンの D S M から入手可能な、主にビニルトルエンおよびインデンからなる樹脂油。組成は下記参照。

D C P D 9 1 濃縮物 : ペルニス (N L) の S h e l l から入手可能な、91%純度のジシクロペンタジエン濃縮物。

イソプレン 65 : ペルニスの S h e l l 製イソプレン流れ。組成は下記参照。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

【表 2】

流れ	イソブレン	粗ピペリレン	レギュラーピペリレン	レギュラーC9	HBR C9	溶媒
C4		0.7				
イソペンタン	0.1	10.4				
1-ペンテン	5.1	3.7				
2-メチル-1-ブテン	10.6	5.1				
n-ペンタン	16.7	15.6				0.1
イソブレン	63.9	17.6	0.5			0.0
トランス-2-ペンテン	2.4	2.5	0.9			0.6
シス-2-ペンテン	0.4	1.4	1.9			0.5
イソアミレン		2.9	5.6			0.1
t-ピペリレン		6.0	33.2			0.1
c-ピペリレン		11.8	18.7			0.5
シクロペンテン		3.5	13.4			2.4
シクロペンタン		3.1	3.8			6.9
シクロペンタジエン		1.2	4.7			0.2
ジシクロペンタジエン		8.1	9.4	0.4		1.4
他のC5+C6	0.7	6.1	4.4	0.2		3.8
トルエン				0.1		1.3
C9軽最終物*				0.7	0.1	4.2
スチレン				2.4	0.4	0.1
α -メチルースチレン				3.9	0.4	
ビニルトルエン				21.5	2.8	0.7
インデン				27.3	12.0	0.2
メチルインデン				5.3	42.6	0.5
トリメチルベンゼン**				28.2	6.0	69.4
テトラリン***				8.0	20.9	3.8
ナフタレン				1.9	14.7	2.0
重最終物****				0.2	0.2	1.4

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

実施例3．b．C9 HBRのレギュラーピペリレンとの併用法

次の表は、レギュラーピペリレンを用いるメチルインデンに富む樹脂油（C9 HBR

）の軟化点増加効果を示す。

【誤訳訂正 1 0】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 2】

実施例 3 . c . C 9 H B R の粗 C 5 との併用法

下記表は、メチルインデンに富む C 9 H B R 樹脂油をイソプレンが豊富な粗ピペリレン流れと併用したときの効果を示す（供給原料流れの組成参照）。R & B 軟化点は、すべてポテンシャルにストリッピングされた。

【誤訳訂正 1 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 4】

表に示されるこの実施例の結果は、メチルインデンに富む C 9 H B R 樹脂油が 1 0 高いポテンシャル軟化点を生じること示す。後に選択的ストリッピングもしくはオイリングダウンにより軟化点を制御することは、はるかに易くなる。かくて、所望の樹脂特性のためにイソプレンもしくはイソプレンに富むピペリレン流れを使用することは可能である。

【誤訳訂正 1 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 7】

ここでは、分子量パラメーターは、追加量の連鎖移動剤使用で減少した。

実施例 4 . b . 過剰の（ジ）シクロジオレフィンが重合供給原料に添加される場合の追加的連鎖移動剤の使用法

ジシクロジオレフィンおよびシクロジオレフィンの追加量が高すぎることは可能である。下記表は、分子量パラメーターを追加量の連鎖移動剤を使用することにより減少できることを示す。連鎖移動剤の量は、C 4 のような全モノマーの画分として下記表に示される。この場合、純イソブチレンが使用された。この実施例については、C 5 および C 6 オレフィンならびにジオレフィンがイソプレン流れ起源である実験が選ばれた。芳香族部分はメチルインデンに富む C 9 H B R 樹脂油起源で、ジシクロジオレフィンおよびシクロジオレフィンはシクロペンタジエンおよびジシクロペンタジエン起源だった。示される軟化点は、ポテンシャル軟化点にストリッピングされた。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 8】

【表 1 2】

実験	樹脂 1 8	樹脂 5 (ポテンシャルに ストリップ)
イソブレン	12.5	12.5
HBR C 9 樹脂油	23.0	23.0
CPD / DCPD (1 : 1)	9.0	9.0
希釈剤	55.0	55.0
追加イソブチレン		3.0*
C 4		0.08
脂肪族炭化水素	0.26	0.22
芳香族炭化水素	0.46	0.43
環状ジオレフィン	0.28	0.25
R & B (°C)	105.5	97.0
MMA P (°C)	31	31
色 (ガードナー)	9.2	9.4
Mn (Dalton)	548	624
Mw (Dalton)	1271	1239
Mz (Dalton)	5209	3505

* この量は、他の成分の重量%に基づいて計算した